

晶析プロセス開発用

カツラギのベンチスケール晶析装置

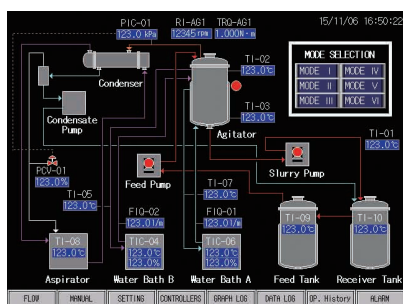
カツラギ工業では、クリスタルエンジニアリングで蓄積されて来た経験をもとにして、様々な規模及び形式の晶析装置を設計製作しておりますが、この度、ベンチスケール規模(有効容積3ℓ)のテスト機を準備致しました。

プロセス開発用の有効容積50ℓから500ℓ規模のステンレス製晶析パイロット装置は、これまで数多くご利用いただいておりますが、その前の段階として、ガラス製外套の晶析缶とすることで、MSZWの測定とともに様々なモードでの運転(回分あるいは連続操作)が可能となっております。

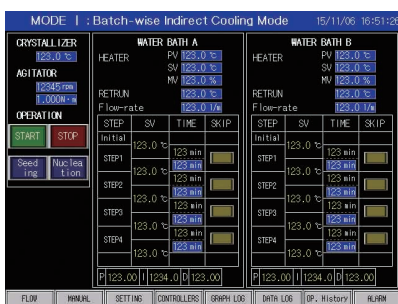
特長

- 回分式、連続式、間接及び真空冷却式、濃縮晶析式などタッチパネル画面で選択設定可能。
- 加熱あるいは冷却温度差を局部的に任意に設定可能で、スケールングや核発生挙動を外から目視確認可能。
- ドラフトチューブ及び攪拌翼を取り替えることが可能で、結晶品質への攪拌の影響確認可能。
- 真空度と温度はPID制御されており、全ての温度、圧力、流量、回転数、トルクが記録可能。

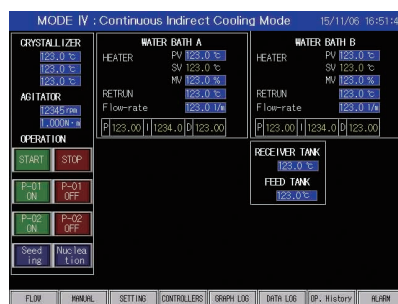
- (写真左) テスト機正面全景
- (写真右) 3ℓ規模結晶缶
- (下6枚) タッチパネル画面
Photo.1…フローシート画面
Photo.2~5…モード1~6画面
Photo.6…操作履歴画面



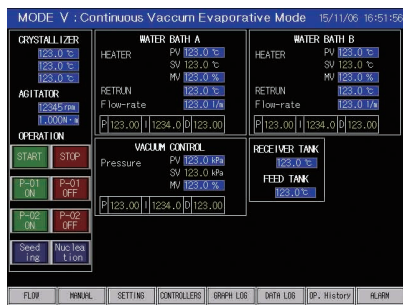
▲ Photo 1



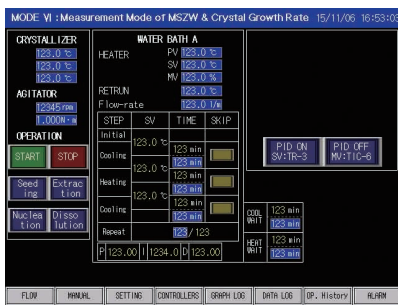
▲ Photo 2



▲ Photo 3



▲ Photo 4



▲ Photo 5



▲ Photo 6